

# 地域おこし協力隊活動記

自動車ファンを呼び寄せる魅力

レトロカーショーには自動車・バイク合わせて70台以上が集まりました。とて30年以上前に製造されたものとは思えないほど手入れが行き届いたものばかりでした。



皆さん、こんにちは。11月1日は小野町レトロカーショーが開催されました。昭和の時代に街を走っていたなつかしの名車が野球場に集まり、見る人を楽しませていました。会場は景色と空気が共にすがすがしく、このようなカーショーが開かれることから自動車ファンを引きつける力があると感じました。

実は小野町周辺はドライブが楽しい道路が多くあります。しばらく進むと信号につかまる様な都市部の道路と対極にあり、気持ちよく車を走らせることができます。ツーリング客にも人気で、あぶくま高原道路でこちらに向かうバイクやコンビニなどで休憩する人の姿を時折見か

古崎です!



私もクルマが好きな人間の一人です!

けます。秋の紅葉は他より一足早く楽しめ、色づく木々の合間をくぐり抜けて走る快感は筆舌し難く、より多くの人に体験してほしいと思うほどのものです。

各方面から快走できるルートが集まりインターも配置される小野町は阿武隈高原エリアをドライブする拠点としてのポテンシャルがあると私は考えています。



ふるさと小野町会

ふれあい通信

ふるさとに感謝



根本 秋男

ねもと・あきお

- 上羽出庭出身
- 東京都支部

皆様、ご無沙汰しております。根本秋男です。よろしくお願ひ致します。

生まれ育ったふるさとの懐かしい山や川、貧しいながらも平和な生活、人々の優しいさなどゆったりとした時間から来るのんびりとした田舎の暮らしを懐かしく思います。この頃はどこの家も貧しくて生活するのがやっとの状態でした。農作業の手伝いも多少しました。食べ物も殆んど自給自足でおかずと言えば漬物ぐらい、でもそれで充分だった気がします。今のような贅沢な生活は知らなかった訳ですからそれで満足してました。

小学校を昭和32年3月に卒業しました。その後、地元の家具屋さんで修行し、昭和39年に東京に出て来ましたが最初の頃は右も左もわからず生活にも苦労しました。就職した家具屋さんでがむしやらの働き、少し

ずつゆとりができました。

苦勞の甲斐があつて自分で会社を立上げ、戸建住宅を持つこともできました。仕事上、色々な苦勞がありました。特に人間関係には悩みましたが何とかやって来れました。

これは子供時代に田舎で過ごした頃に培われた辛抱強さがあつたからだと思ひました。ふるさとの雄大な自然が背中を押してくれたような気がします。つらいときなどふるさとを思い出すと頑張れました。ふるさとに大感謝です。

最近、体力的に老いぼれた感じはありますが気持ちはまだまだ若いつもりでいます。身体が動ける間は頑張つて仕事を続けて行きたいと思つております。

皆様も健康に気を付けて元気で長生きできるよう頑張つて行きましよう。

またいつか皆様に会えることを楽しみにしています。